

ごとう通信

第 165 号

平成 26 年 9 月 1 日

夏は終わったんですかねえ。八月の後半は一気に涼しくなったりして。まあ、残暑厳しく、暑くて「やってられない！」って夏

よりはいいですけど。

それにしても最近よく聞くのは、「観測史上初」だとか「何十年ぶり」だとか。広島の災害にしても短期集中の大雨。びっくりしてしまいます。僕も広島出身なのでよくわかりますが、瀬戸内の気候というのは温暖で

自然災害も少ないと

ころです。避難警報

だとか、土地開発の

問題などが取り上げ

られています。正



直、住民の危機意識は低かったと思います。日本全土、どこで何があるかわからなくなってきました。個人としての防災意識を

持たなくてはいけませんね。

以前は、多少の暑さも全く問題なく、汗をだらだらかいていても気にならなかったのですが、今年あたりはちよつとつらくなってきました。

これも老化？僕たちは三十歳そこそこで訪問診療を始めましたので、最初はおじいちゃん、おばあちゃんの世代の方に多く接してきました。その時に皆さんおっしゃっていたことが今やわが身に。

固有名詞が出ずに「あれあれ」とか

「あの人：誰だっけ」とか、立ったは

いいけど何しに来たか忘れると言う

のはかなり早くクリアしました。老

眼になってメガネを付けたり外した



り、そのうち眼鏡を探していたら額の上にあつたというのは最

近クリアしました。段階的に言うと次は口癖が「最近の若者は」になるのであるとか、電車で席を譲られてシヨックを受けるとか。こういうことがわが身に起こるんだと思っていることと自体老化現象ですね。

噛むこと

口の動きや機能に関して僕たちはプロフェッショナル（なはず）ですが、一番理解されていないなあと思うのが噛むこと（咀嚼）です。一言でいうと、噛むこととは、ものを小さくする作業ではなく、飲み込める形に仕上げることなのです。確かに硬いものを食するときはずっかりとした力が